



まなびのおと



●「四中スタンダード」

摂津四中の授業は、すべての教科が「四中スタンダード」を意識して行われます。これらは四中生みんながしっかり学習できるようにと考えられたものです。しかし、先生たちの工夫だけでは授業はうまくいきません。授業は、生徒と先生と一緒に作り上げるものです。四中全体で授業をより良いものにしていきましょう。

1. 単元計画・単元目標（評価規準）を先生と生徒で共有する。
2. 「本時の目標・本時の流れ・今日のポイント」を明確に示し、先生と生徒で共有する。
3. 評価するもの（課題・作品など）がある場合には、先に評価基準を示し、先生と生徒で共有する。
4. 1時間の中に「自分で考える時間」と「学び合い（ペア・グループ・その他）」を取り入れる。
5. 1時間の最後に「振り返り」を行い、生徒は自身の学習を振り返る。
6. すべての生徒が1時間ごとに「〇〇ができた」と思える授業づくりをする。

【具体的な手立て】

ユニバーサルデザインに基づく授業づくり

板書の整理

先生たちは、整理された見やすい板書（きれいな黒板）を心掛けます。

生徒のみなさんは、見やすいノートづくりを心掛けましょう。

生徒との共有

①単元計画・単元目標（評価規準）

単元計画や目標については、プリント等で配布します。単元全体を意識しましょう。

②本時の目標・本時の流れ・今日のポイント

プレートを使って毎時間示します。常に意識できるようにしましょう。

③課題・成果物等の評価基準

評価する対象（課題・作品など）は、事前にその評価基準を示します。

評価基準を十分に理解して、課題や作品に取り組めるようにしましょう。



学び合い

①授業の中でペア、グループ、クラス全体などの「学び合い」

(例) ペア：短時間での確認や、課題の教え合いをします。

4人班：時間をかけて考えを出し合ったり、理解し合ったりします。



②授業以外での活用

教科の授業だけではなく、HRや行事の取り組みなど、普段から班での活動を増やします。

③座席・班編成

ペア・4人班を積極的に活用します。

座席・班編成については、班長会議と担任で考えましょう。

少人数・習熟度別授業についても座席を指定します。

振り返り

1時間あるいは単元で「何がわかったのか」「何ができるようになったのか」を、自分で確認しましょう。

特に、「粘り強く取り組んでいるか」や「どのように学習を工夫しているのか」という観点が大切です。

自分自身の成長につなげるために、しっかりと自分を見つめ直しましょう。



「〇〇ができた」と思える授業づくり

すべての生徒が、1時間終了後に「〇〇ができた・わかった」と言える授業を目指します。

簡単なことではありませんが、クラス・学年・学校全体で、すべての授業で「〇〇ができた」と思える授業を作り上げていきましょう。



～RPDCAサイクルのすすめ～



今、「自ら学ぶ力」が問われています。約10年後には、今ある仕事の約50%がロボットやコンピューターで自動化されるといわれていますが、私たちは自ら学び、考え、調整していく力を伸ばしていく必要があるでしょう。そのためには、現状を知り、そこから計画を立て、実行し、振り返り、改善し、次の計画を立てる…そんなサイクルを自分でたどれるようになっておきたいものです。普段の学習や生活から「RPDCAサイクル」を意識し、計画的に学び、調整できるようになって、ロボットやコンピューターにはない人間にしかない能力を高めていきましょう。